

よんで・あそんで・こえにだして

たのしいえほん

～難聴の子どもたちに手渡したい絵本～

千種図書館は、耳の不自由なお子さんの発達支援を行っている児童発達支援・放課後等デイサービス施設パレット・パステルへの絵本の貸出をしてきました。耳からきいて言葉を学ぶことが難しい子どもたちが、楽しく言葉と出会えるよう、千種図書館の司書と施設職員が相談しながら絵本を選んできました。

その中で特に子どもたちの自発性を促してくれたものや、助詞や擬音語など手話で表現することが少ない言葉が出てくるもの、絵本に出てくる表現が子どもたちの日常に溶け込み、遊びに取り入れられたものなどを選んで、リストにしました。

読み聞かせをするときは、子どもの理解度に合わせて声や口の動きを調整し、手話を使ってみてください。

このリストで紹介している本は、名古屋市図書館に所蔵がありますので、ぜひお子さんといっしょに絵本を楽しんでみてください。

※リストを作成するにあたり、児童発達支援・放課後等デイサービスのパレット・パステルの職員の皆様にご協力をいただきました。（裏面に施設紹介があります）

【リストの見方】

書誌情報

☆：大型絵本あり

絵本のあらすじや特徴

『だるまさんが』 ☆
かがくいひろし／さく ブロンズ新社



「だるまさんが」のフレーズの後、ページをめくると、「どてっ」と転んだり、「ぶしゅーっ」と小さくなったり。だるまさんがどうなるのか、わくわくする絵本。シリーズで『だるまさんの』、『だるまさんと』があります。

手話ではあまり使わない助詞（「が」）が出てくるので、学びになりました。
短く、リズムのよい文章なので、自分から声に出して読みたくなるようです。

パレット・パステルで
読み聞かせをしたとき
の子どもたちの様子

❖ 声に出して読むと楽しい絵本 ❖

思わず自分から声に出して読みたくなるフレーズが出てきます。

『あーといってよあー』

小野寺悦子／ぶん 堀川理万子／え
福音館書店



声を可視化した絵本。声の出し方によって、高低差が生まれたり、大きさや体への振動が変化することに気づかれます。

声の大きさや振動、リズムが絵で表されているので、子どもたちは、それを見ながら声を出してみたいようでした。

『おおきなかぶ』 ☆

A.トルストイ／再話 内田莉莎子／訳
佐藤忠良／画 福音館書店



大きなかぶをおじいさん、おばあさん、まご、そして動物たちが一緒にひっぱります。

ロシアの昔話。

「うんとこしょ どっこいしょ」が繰り返してくるので、子どもたちは覚えやすく、声に出して読んでいました。おおきなかぶごっこをして遊びました。動作と掛け声が合わさって、より絵本の世界を味わうことができました。

『おしくら・まんじゅう』 ☆

かがくいひろし／さく ブロンズ新社



2つのおまんじゅうが、こんにやくやなっとうと「おしくらまんじゅうあそび」をするよ。さあ、どうなる？

「おしくらまんじゅう」のかけ声のところのリズムがいいので、声に出したくなりますようです。

「ぎゅー」や「ぷるるる〜ん」、「ねっば〜」など、おもしろい言葉の響きに出合う機会にもなりました。

『もりのお風呂』 ☆

西村敏雄／さく 福音館書店



森の奥にあるお風呂にライオンやゾウなど、動物たちが次から次へとやってきます。みんなで背中を洗いあって、最後はお風呂へどぼーんと浸かっていい気持ち。

なじみのある「お風呂」が舞台なので、想像力を掻き立てられやすいお話だと思います。

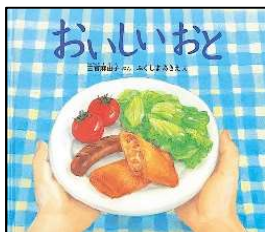
体を洗うときの「ごしごし しゅっしゅ」のフレーズが繰り返し出てきます。読み手と合わせて一緒に読んだり、体を洗うまねをしたりして楽しむ子もいました。

❖ 音の響きを楽しむ絵本 ❖

音の響きが楽しい絵本は、子どもたちの音への関心を高めることができます。

『おいしいおと』

三宮麻由子／ぶん ふくしまあきえ／え
福音館書店



おいしそうな食事の絵とともに、食べるときにきこえる音の響きが書かれています。

音の響きを楽しんできいていたようです。
咀嚼音はあまり意識することがないので、食べものによって違いがあることに気づかされたようです。

『コッケモーモー!』

ジュリエット・ダラス＝コンテ／文
アリソン・バートレット／絵
たなかあきこ／訳 徳間書店

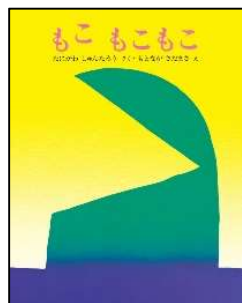


鳴き方を忘れてしまったおんどり。そのことを他の動物たちに笑われ、落ち込んでしまう。そこへ、にわとり小屋をねらって、きつねがやってきて…。

絵本に出てくる牛やにわとりなどの鳴き声は、日常生活の中で聞いたり、手話で表現したりすることがあまりないため、子どもたちに知ってもらう機会になりました。

『もこもこもこ』 ☆

谷川俊太郎／作 元永定正／絵
文研出版



「しーん」。最初は何もない場面から始まります。次のページで地面から何やら「もこ」と盛り上がり、それがだんだん大きくなって…。「ぱく」、「ぎらぎら」などの擬音語とカラフルな抽象画からなる絵本。

不思議な絵と音の響きが、子どもの興味・関心をひいていたようです。
ひとつひとつの言葉が短いので、読み手の後に続いて、声に出して読む子もいました。

『わにわにのおふろ』 ☆

小風さち／ぶん 山口マオ／え
福音館書店



わにわには、お風呂が大好き。自分でお湯をためて、お風呂に入ります。おもちゃで遊んだり、歌を歌ったりして楽しめます。

お湯がじゃぐちから出るときの「じゃばじゃば」など、お風呂に入っているときもいろんな音がしていることを知ってもらう機会にもなりました。

❖ 言葉の理解を深め、さまざまな表現に触れることができる絵本 ❖

絵があることで、文字を見たり言葉を聞いたりするだけでは想像しにくい
言葉の意味が、理解しやすくなります。

『おんなじ おんなじ』

多田ヒロシ／作 こぐま社



ぶうがはいているくつと、ぴよんがはいているくつは
「おんなじ(同じ)」もの。ぼうしもくつも「おんなじ」なん
です。他にもいろんな「おんなじ」が出てきます。

「おんなじ(同じ)」ということがどういうことなのか、
絵で表されているので、子どもたちは言葉の意味を理
解しやすかったようです。

『かおかおどんなかお』

柳原良平／作・絵 こぐま社



楽しいとき、悲しいとき、怒っているときはどんな顔？
人がみせるいろんな表情が描かれている絵本です。

表情に合わせた色使いによって、より表情の意味が理解
できたようです。

『はんぶんこ』

多田ヒロシ／作 こぐま社



パンダたちはケーキを、ぶたたちはすいかを「はん
ぶんこ(半分)」します。みんな上手に「はんぶんこ」で
きるかな？

絵が伴うことで、「はんぶんこ(半分)」するという言葉
の意味や動作を推測することができたようです。
はんぶんこすることによって生まれる喜びも感じられた
ようでした。

『ぼくのくれよん』 ☆

長新太／おはなし・え 講談社



ぞうのくれよんは、猫と同じくらい大きい。そんな大き
なくれよんで描いた絵はとても大きくて、迫力がありま
す。でも他の動物たちを困らせてしまうことも。

絵に「びゅーびゅー」という音が合わさることで、ぞうの
描いた絵の大きさをより感じることはできたようです。
手話で表す機会が少ない擬音語に触れる機会にもなり
ました。

『わたし』

谷川俊太郎／ぶん 長新太／え
福音館書店



わたしは「わたし」なのに、弟からみると「おねえちゃん」、お兄ちゃんからみると「いもうと」になる。相手によって呼び方が変化するおもしろさに気づかされます。

自分のまわりにはどんな人がいるのか意識をするきっかけにもなります。

❖物語絵本❖

子どもにとって身近なテーマが扱われているものや、お話の展開が少しずつ変化していく、くり返しのあるものがおすすめです。

『ウサギのすあなににいるのはだあれ?』

ジュリア・ドナルドソン／文
ヘレン・オクセンバリー／絵
とたによこ／訳 徳間書店



ウサギは自分の巣穴から、「おいらは はらぺこ ぴよんがぶりん。ウサギのみみがだいこうぶつ。ちょきんときって、くっちゃうぞ」という声を聞いた。怖くなり、ネコやクマなどの動物たちに助けを求めますが…。

同じような場面が繰り返し出てくるので、話の展開の予測がつきやすく、長いお話を読みなれていない子も楽しめました。

『せんろはつづく』 ☆

竹下文子／文 鈴木まもる／絵
金の星社



せんろをどんどんつなげていくよ。トンネル掘ったり、橋をかけたりして、みんなを乗せた汽車が走ります。

読んだ後、電車ごっこをして遊ぶこともあり、子ども同士のコミュニケーションにつながりました。

『はらぺこあおむし』 ☆

エリック・カール／さく もりひさし／やく
偕成社



卵からうまれた小さなあおむしは、お腹がぺっこぺこ。毎日いろんなものを食べて大きくなります。やがてさなぎの皮を脱いで、きれいな蝶へと成長します。

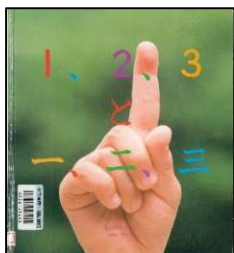
絵を見ていくだけで、お話の筋がたどれるくらいわかりやすい内容なので、細かな言葉が聞き取れなかったとしても、あまり気にならず、楽しめる絵本だと思います。

❖ 体験したくなる絵本 ❖

読み終わった後、絵本の内容をまねた遊びや、実体験に結びつけることもできるため、自然と子どもの自発性を促し、遊びを通して友だちとの対話にも繋がります。

『1、2、3 と一、二、三』

星川ひろ子／作 小西啓介／デザイン
福音館書店



傘の持ち手のところが「2」に見えるといった、身のまわりにあるものでアラビア数字や漢数字に見えるものが写真で紹介されています。

読み終わった後、身のまわりに数字に見えるものがないか、子どもたちと一緒に数字探しをして遊びました。

『おにぎり』

平山英三／ぶん 平山和子／え
福音館書店



おにぎりを作る過程を描いた絵本。炊き立てのご飯から出ている湯気や握って作っているところの絵は、臨場感が感じられます。

幅広い年齢の子どもに受け入れられました。
おにぎりがおもしろそうに描かれているので、食べるまねをする子もいました。
絵本を読んだ後、中に何を入れる？何が好き？というやりとりをして楽しみました。

『サンドイッチサンドイッチ』 ☆

小西英子／さく 福音館書店

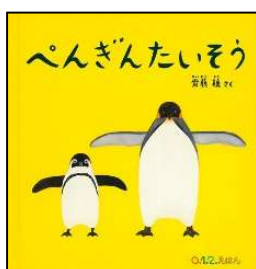


パンにトマトやハムをのせてサンドイッチを作る過程が描かれています。

描かれている食べものがみずみずしく、子どもたちは思わず食べたくなったようです。
切ったトマトやちぎったレタスなど、食材の見た目の変化も知ることができ、楽しめました。

『ペンギんたいそう』 ☆

齋藤楨／さく 福音館書店



ペンギんたちがうでをふったり、ジャンプをしたりして、体操をします。

ペンギんの動きがコミカルなので、子どもたちがまねをしたくなるようです。ペンギんと一緒に体を動かすことで、子どもたちは自然と笑顔になりました。

❖参加型の絵本❖

読み手と聞き手との間にコミュニケーションが生まれるので、
読むたびに違った楽しさが味わえます。

『くだもの』

平山和子／さく 福音館書店

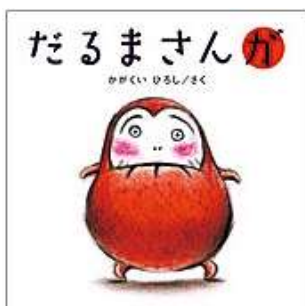


いろんな果物が出てきます。「さあどうぞ」とこちら側に差し出されている絵があり、思わず受け取って食べたくなるような絵本です。

果物の絵がみずみずしく、おいしそうに見えるので、絵本に手をのばし、食べるまねをする子がいました。切って食べられる状態になっている果物を目にするのが多いので、果物のそのものの状態と両方を見ることができ、学びにもなります。

『だるまさんが』 ☆

かがくいひろし／さく ブロンズ新社

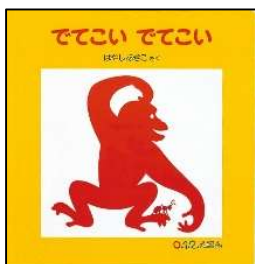


「だるまさんが」のフレーズの後、ページをめくると、「どてっ」と転んだり、「ぷしゅっ」と小さくなったり。だるまさんがどうなるのか、わくわくする絵本。シリーズで『だるまさんの』、『だるまさんと』があります。

手話ではあまり使わない助詞（「が」）が出てくるので、学びになりました。
短く、リズムのよい文章なので、自分から声に出して読みたくなるようです。

『でてこい でてこい』

はやしあきこ／さく 福音館書店



いろんな生きものたちが隠れていて、「でてこい でてこい」の呼びかけの後、ページをめくると、隠れていた生きものたちが現れます。

読み手と一緒に「でてこい でてこい」と呼びかけたり、隠れている生きものを当てたくなるので、自然と声が出ていました。

『とんとんとん』 ☆

あきやまただし／作・絵 金の星社



かずきくんの家に遊びに行こうとしたのですが、マンションのどのお部屋かわかりません。そこでまずは、緑色のドアを「とんとんとん」とノックしました。すると…。

ドアを叩くときの「とんとんとん」という言葉が繰り返し出てくるので、読み手と一緒に言ったり、ドアを叩くまねをしたりする子がいました。
色の名前や階数を聞いたり答えたりというやり取りもできました。

『ねえどっちがすき?』

安江リエ／ぶん 降矢奈々／え
福音館書店



「びっくりめだまやき」と「ほっこりたまごやき」のどっちがすき?どちらも魅力的で悩んでしまう2択の質問とそれにぴったりの挿絵が次々と出てきます。

自分の感想を言ったり、自分と違う方を選んだ子の理由を聞いたりすることで、コミュニケーションが取れていました。

『まるまるまるのほん』

エルヴェ・チュレ／さく
たにかわしゅんたろう／やく ポプラ社



絵本の指示にそって、描かれている「●(まる)」を指で押したり、こすったりしてみよう。ページをめくると、「●」の数が増えたり、色が変わったりしてみえる不思議な絵本。

自分で「●(まる)」を動かしているような感覚が味わえます。ページをめくると、どんなふうに「●(まる)」が変化するのか、想像して楽しんでいました。

『やさいのおなか』

きうちかつ／さく・え 福音館書店



「これなあに」と書かれたページの反対側には、白黒の野菜の断面図があります。ページをめくると、正解の野菜がカラーで描かれています。

クイズのように子どもと当てっこして楽しみました。答えたいという気持ちがわき起こり、積極的に声に出して答えようとしていました。

～ パレット・パステル（児童発達支援・放課後等デイサービス） ～

耳の不自由な子どもを中心に自立に向けての支援を行っており、絵本を使って日本語の読み書きの力が伸びるよう子どもたちの成長をサポートしています。

[<https://deaf-ic.org/dayservice.html>]

パレット 対象：0～18歳（主に小学生以上）

住所：〒464-0072 名古屋市千種区振甫町2丁目64番地1

TEL：052-726-6233 FAX：052-726-6325 Mail：palettle@deaf-ic.org

パステル 対象：0～18歳（主に未就学児）

住所：〒464-0071 名古屋市千種区若水三丁目10番1

TEL：052-768-7333 FAX：052-768-7332 Mail：pastel@deaf-ic.org

名古屋市千種図書館

電話 781-7431 FAX 781-7447 [<https://www.library.city.nagoya.jp/>]

令和6年6月 発行